

【八幡地区で優先的に取組むべき「対策の方向性」の順位と投票数】

投票数	対策の方向性
10	みんなが顔見知りになれるまち
5	赤田公園の整備と活性化
4	見守り体制づくり
3	若い人や子どもが多くなる地域
3	団地を活性化して若い世代を呼ぶ
2	道路・街路樹・防犯灯の整備
1	のばらさんの伝統を継続
1	人のつながりをつくる



八幡地区 第三回ワークショップレポート

第三回のワークショップでは、第二回のワークショップで話し合った地区の目指す姿を実現するための取組みについて、市長を交えて、検討を深めました。

前半では、地域の課題や魅力などについて市長に発表した後、市長から、課題解決に向けた最近の市の取組みなどについて説明し、お互いの理解を深めました。

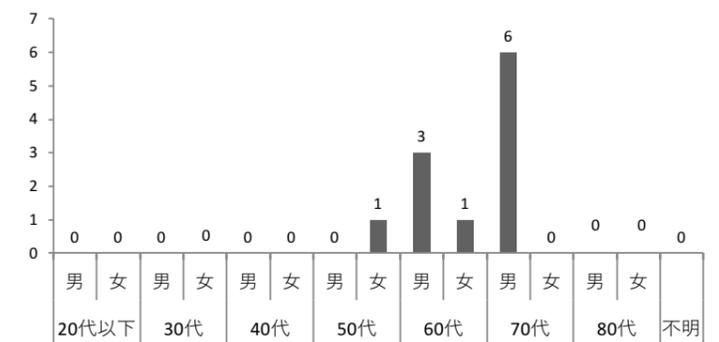
後半では、これまでまとめてきた「対策の方向性」について、先に実施すべきと思うものを参加者で投票（1人3票）し、優先的に取り組むべきことを明らかにしました。

日時：11月4日（月）10時～

場所：小岱工芸館

参加者数：11名

【八幡地区の参加状況】



(地区全体の方針) 伝統と生きる、安全安心に暮らす

■八幡地区で取組みたい
「対策の方向性」について、
追加する具体的な取り組みの例

★は追加された意見

安心・安全の環境

道路・街路樹・防犯灯の整備
標示・看板の定期的な巡回と整備
地域で清掃・除草活動
地域での意見交換会

通学路が安全

地域の見守り
交通安全指導
子どもの夜警活動(子ども消防団)
青色パトロールカー巡回
★校区の違いを超えて効率的にやる
★PTAや交通指導員で協力してやる

**安全で管理された自然
(菜切川・池・樹木)**

年二回のゴミ拾い
桜の枝切り・草刈り
ボランティア清掃活動
川の砂取り
県管理下の川土手の計画的整備
ゆみた池から国道に抜ける道の木の伐採
★条例化して樹木伐採できるようにする

見守り体制づくり

★「きにかけてくださいね」という声かけ
★認知症の人の把握
★認知症声掛け訓練
★いざというときの体制づくり
★地域のつながりの把握

地域の自慢を活用する

赤田公園の整備と活性化
赤田公園の美化
ボートの復活
桜の植樹
遊歩道・駐車場・危険箇所の整備
寄付を集めて再開発

のばらさんの伝統を継続

子ども会に助成して継承
のばらさんの日は小学校を半日休みに
★笠切づくりのときに見学させる
★風流保存会への助成が必要
★どんどやも活用

**梨ブランドを未来につなげ
耕作放棄地解消**

農地の賃貸

暮らしやすいまち

若い人や子どもが多くなる地域
学校に出前講座
子どもたちを守る組織
住民が集う場所の確保

交通・買い物の便がいい

バスの巡回

おしゃれなお店がある

荒尾梨限定カフェ
空き家を使ったお店

団地を活性化して若い世代を呼ぶ

入居基準を見直す
壁を抜き、2軒を1軒に
団地のバリアフリー・エレベーター整備
内装を今風にリノベーション

つながりがあるまち

みんなが顔見知りになれるまち
みんなが集まる地区民動員のイベント
サロン活動をもっと活発に
地区の人に挨拶
役が回ってきたら快く引き受ける
若い世代の積極的参加を促す
情報連絡を毎週回覧

空き家を活用して集いの場

空き家を使った公民館
空き家を活用した交流の場
小学校の教室開放
空き家のリノベーション

人のつながりをつくる

★PTAで子ども会参加を強く促す
★コミュニティスクールの推進
★クリスマス・防犯パトロールは子供と一緒に